

平成 27 年度第 1 回成田市男女共同参画計画推進懇話会会議概要

1. 開催日時

平成 27 年 7 月 15 日（水）14：30～16：00

2. 開催場所

成田市花崎町 760 番地

成田市役所議会棟 3 階 執行部控室

3. 出席者

（委員）

依知川委員、石井委員、一色委員、滝澤委員、飯田委員、櫻井委員、衣笠委員

星野委員、高仲委員、高田委員、宮崎委員、神山委員、柏崎委員

（事務局）

小泉市長、大木市民生活部長、椿市民協働課長、瀬尾市民協働課市民相談室長

野平市民協働課係長、飯嶋市民協働課主査

4. 議題

（1）第 2 次成田市男女共同参画計画の平成 26 年度事業実績について

（2）次期成田市男女共同参画計画策定について

（3）アンケート調査結果について

（4）その他

5. 議事(要旨)

- ・第 2 次成田市男女共同参画計画の平成 26 年度事業実績について事務局から報告を行った。
- ・次期成田市男女共同参画計画策定について及び、アンケート調査結果について事務局から説明を行った。

6. 質疑等

主な質問・意見は以下のとおり

委 員： 本市を取り巻く現状の、「婚姻・離婚状況」と「ひとり親家庭世帯数」の因果関係は何か。

事務局： 離婚率（％）とひとり親家庭世帯数（実数）の比較になるので、この 2 つの値から因果関係を読み取るのは困難である。

委 員： 議会への報告はどのように考えているか。

事務局： 9 月議会で策定について報告する。

委 員： 事業所へのヒアリング調査が不調な場合、アンケート実施とあるが、できれば、それに関わらずアンケート調査も実施していただきたい。

事務局： ヒアリングの進捗に関わらず、事業所アンケート調査を実施したい。

委 員： アンケートの回収率が 32.2％であり高くはないが、一般的に、こうしたアンケートの回収率はどの程度なのか

事務局： 他の自治体の同様の調査での回収率について、情報を収集して整理しているが、収集した 40 自治体の回収率は、概ね 30～40％となっている。

委 員： アンケートの DV の被害・加害についての設問については、男性が女性に対して

のDVのことなのかと思うが、これはそういう意味か。

事務局： 回答者が女性であれば男性から受けたもの、回答者が男性であれば女性から受けたものということである。

委員： アンケートの「男は仕事、女は家庭」の考え方について、「どちらともいえない」が4割くらいある。通常は、「同感しない」にチェックすると思うが、「どちらともいえない」にチェックする背景には、どのような考え方があるのか。

事務局： 推測の範囲となるが、強く「同感する」もしくは強く「同感しない」とも思わないニュートラルな気持ちをもった層の回答。環境や福祉問題のように、回答者が強い意識を持って回答している分野かどうかという点で、男女共同参画は、それほど強くないという可能性がある。すでに男女共同は実現できているという層が意外と多いという考え方もある。

委員： アンケートの「男は仕事、女は家庭」の考え方について、「どちらともいえない」が4割くらいある。この4割の内容の分析は必要だと思う。端的に数値だけで捉えてはいけないと思う。

事務局： 「どちらともいえない」の人が回答している自由回答の中で分析を検討する。

委員： 今回の計画は、5ヵ年計画なので、3回程度の会議で計画を立てるのは非常に難しいと思う。各部会を作って、さらに細かく検討するような形で5年先を見据えて計画を立てるべきである。

事務局： 来年4月が次期計画の始まりであるので、今回は、設定されたスキームの中でやっていくしかない。

委員： 育児休業・介護休業の制度があっても、女性の待遇がなかなか改善されない、なぜそうなのか。そういう細かい分析も必要ではないかと思う。

事務局： 今後の事業所ヒアリング調査、アンケート調査の中で、それらの制度があまり利用されていない背景を把握していく。

委員： 現在の職場で、女性の病気や妊娠等に対して、また、男性でも育児休業を取ることができるが、それがスムーズにできるのか。結果的には、制度を利用しているひとは少ない。職場において、せっかく良い制度ができて、実際に利用することを認めているのか、いないのか。同じ職場で働くひとたちが、どれだけ理解しているのか。そういう問題も懸念される。

事務局： 今後の事業所ヒアリング調査、アンケート調査の中で、現状把握していく。

7. 傍聴

2名

8. 次回開催日時（予定）

平成27年10月